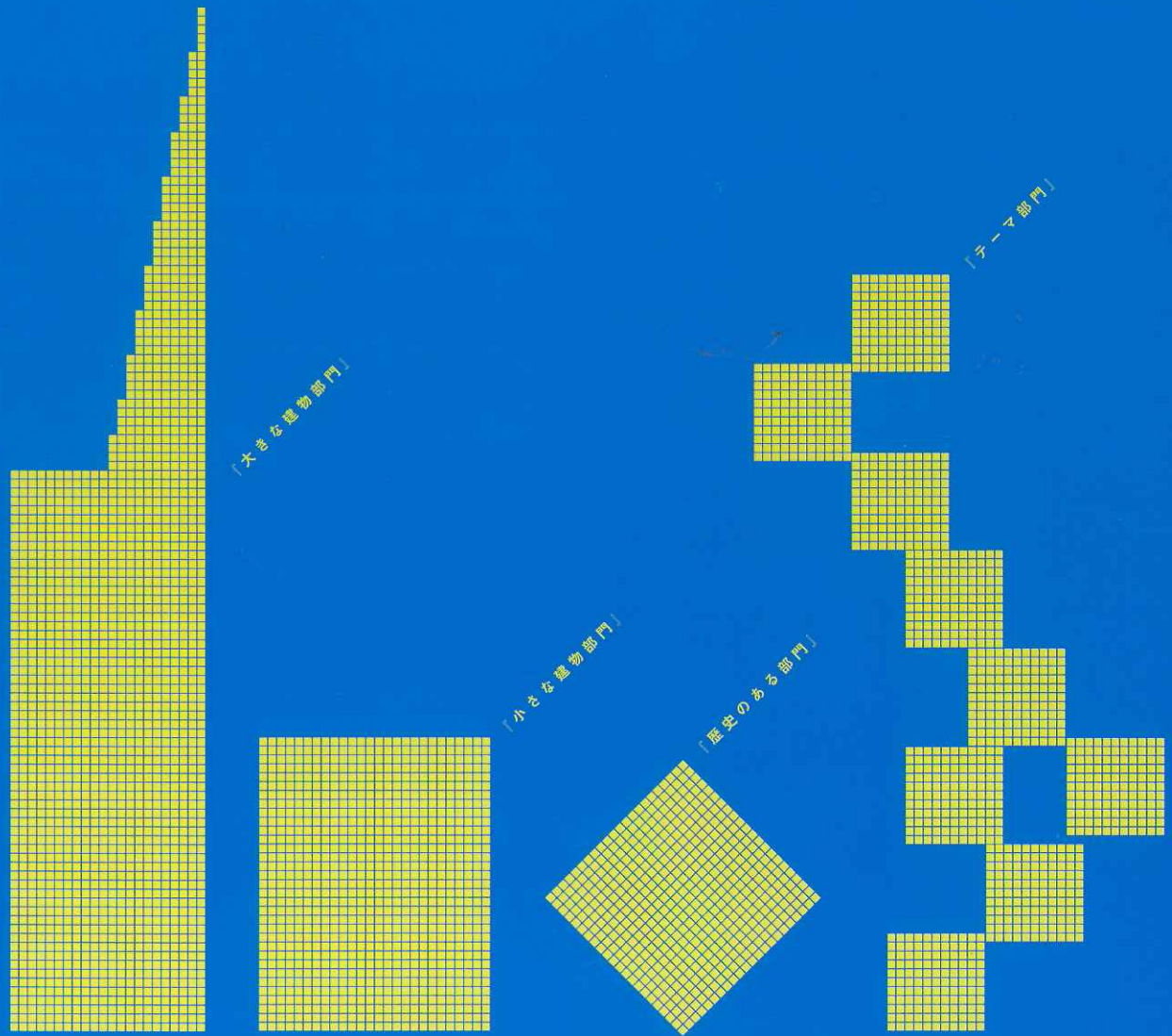


あしたの街は私がつくる





1997長崎市都市景観賞

ごあいさつ



長崎市都市景観賞 表彰実行委員会委員長
伊藤 一長

1997 長崎市都市景観賞並びに都市景観賞奨励賞を受賞された関係者の皆様に、心よりお祝いを申し上げます。

また、表彰作品の募集に、御協力いただきました多くの皆様に、深く感謝申し上げます。

さて、国際色豊かな歴史、文化に育まれた本市は、関係の深い海外5都市と姉妹都市を結び国際交流を深めています。

このようななかで、西暦2000年には、日蘭交流400周年を迎えます。現在、これに合わせて、日本の鎖国時代に唯一の海外への窓口であった「出島」の復元・整備を進めています。

こうした歴史的な遺産や文化財の保存と活用は、本市にとって非常に重要な事業ですが、新たな観点からの新しい長崎のまちづくりもまた課題となっています。その一つとして、長崎らしい景観の形成があり、歴史に彩られた長崎の街に自然に溶け込んでいくものが求められています。

本賞は市民の皆様からの表彰作品の推薦で始まり、この中から受賞作品が決定されるように、長崎の街を愛する皆様の日頃の想いで成り立っています。

今回受賞された作品は、いずれもこれらの期待に応え、これからの長崎の景観形成に先導的役割を果たすものと確信しております。

このことを、関係者の皆様が自分自身をまちづくりの担い手として受け止めていただき、そこに住む人、働く人、訪れる人が、愛着と誇りをもって生活できるような素晴らしい長崎にして欲しいと思います。

今後とも、長崎市都市景観賞が、市民の賞として親しまれ、ますます発展しますことを祈念いたしまして挨拶とさせていただきます。



長崎商工会議所会頭
野崎 元治

1997 長崎市都市景観賞ならびに都市景観賞奨励賞を受賞されました関係者の皆様、おめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。

この賞は1987年、魅力ある長崎らしい街づくりを進めることを目的に「長崎市都市景観建築賞」として発足、以来長崎の歴史的背景や地理的特色を生かし、周囲の街並みや雰囲気と調和した建物等に贈られてきました。

また、表彰対象につきましては、市民の皆様の景観への関心度の高揚を映じて、建築物に限定せず、より広範囲に位置づけられてきたところでもあります。

長崎は、いま21世紀を目前に控え、NUR2001構想をはじめとした重要プロジェクトを官民一体となって推進しており、その実現のためにも、長崎の街全体としてかつての先駆者たちが築き上げてきた文化遺産等を活かし、継承していくに相応しい景観づくりへの努力が必要であると思われまふ。

今回もそうした観点から、独特の歴史や文化といった従来の「長崎らしさ」を感じさせるものに、新たな「長崎らしさ」を予感させるものを合わせ、3つの都市景観賞、2つの都市景観賞奨励賞が表彰されることとなりました。いずれも、今後の「長崎らしい」景観形成に一役かっただけのものと同信しております。

また、巻末にお示し致しますとおり、本賞の受賞作品は回を重ねるごとに増加し、地域的にも拡がりを見せております。こうした動きにより、これら受賞に値する景観群が、線で結ばれ、面に拡がり、やがて市域全体が表彰対象となる日が来ることを願います。

最後に、本賞が市民の皆様の、都市景観や街づくりに対する関心をより一層深めていただく契機となることをご期待申し上げますとともに、本事業の実施にあたりご尽力いただきました関係各位ならびに選考委員の皆様へお礼を申し上げます。

自然環境を生かし、歴史的な文化遺産を継承しながら、人間のふれあいのある都市、洗練された街づくりに寄与する作品に対して贈られる賞です。



選考を終えて
長崎市都市景観賞
選考委員会座長
宮川 密義

1997 長崎市都市景観賞ならびに都市景観賞奨励賞を受賞された関係者の皆さまに心からお祝いを申し上げます。

今回は部門別方式を取り入れて3年目に当たりますが、応募者数は前回は23通上回る92通で、「大きな建物部門」は減少したものの、「小さな建物部門」と「歴史のある部門」では増加しました。本賞に対する市民の理解がますます深まり、部門別方式もほぼ定着したことの表れではないかと思えます。

今回の選考では「歴史のある部門」で都市景観賞に2件が選ばれました。これまで、昔の長崎情緒を残す古い建物の積極的な保存と顕彰が求められてまいりました。今回、都市景観賞に選ばれた2件のうち「宝製鋼株式会社」は、長崎の街並みらしい雰囲気を漂わせる煉瓦造りの建物であり、窓枠などの補修を加え末長く保存してほしいとの願いが込められました。

「深堀の石塀群」は、長崎市内で唯一残る武家屋敷跡の石塀ですが、当初、この石塀だけが選考対象となっていました。現地調査で、この地区には各所に石塀が残り、地区の人たちの手入れも行き届き、さらに円成寺には由緒ある漆喰の石塀が残っていることも分かりました。地区を挙げて歴史的景観を守り育てようとする積極的な街づくり活動こそ本賞の目指すところであり、地区の人々のたゆまぬ努力も含めて評価致しました。

「テーマ部門」で都市景観賞奨励賞に選ばれた三菱重工長崎造船所のクレーン・ライトアップは『ペイサイド・シンボル賞』のサブタイトルのように、周辺の華やかな明かり群とは対照的に、ともすれば漆黒に陥りがちな夜の長崎港に、しっとりとした潤いを醸し出しております。ただ、折からの環境、エネルギー問題との絡みで、本件が選考対象となる直前、点灯の規模が7基から2基に縮小された経緯があります。選考委員会でも観光のためのライトアップの在り方に論議が及びましたが、クレーンのライトアップについては景観への貢献度を高く評価、都市景観賞奨励賞の対象と致しました。むしろ7基全部のライトアップを希望する意見さえ出たほどです。

さて、本賞も回を重ねるごとに市民各層の理解も深まってまいりました。次年度は第10回目を迎えます。その節目にふさわしい記念事業も検討されております。本賞が第10回を新たな出発点として、いっそう重要な役割を果たしていくことを願っております。

選考委員会

座長
宮川密義
長崎新聞社編集アドバイザー（マスコミ）
委員
芥 寛
（社）長崎県建築士事務所協会監事（建築）

井川惺亮
長崎大学教育学部教授（美術：洋画）

後田美穂
リブながさき副編集長（マスコミ）

岡林隆敏
長崎大学工学部助教授（土木工学）

津田桂子
わらべ文庫主宰（文学）

津田礼子
活水女子短期大学助教授（美術）

ディナ・バルトーロ・野田
野田ゼミナール講師

林田米松
長崎県グリーン事業協同組合理事長（造園）

伴丈正志
長崎総合科学大学助教授（建築）

福丸秀一郎
商業デザイナー（美術：デザイン）

北郷雅子
フラワーデザイナー（デザイン）

宮原和明
長崎総合科学大学教授（建築）

山崎加代子
商業デザイナー（美術：デザイン）

吉岡規子
（有）サンモーブ代表取締役（色彩）

吉原明俊
ながさきプレス編集長（マスコミ）



第9回
長崎市都市景観賞
1997

『大きな建物部門』
長崎市科学館



【選定理由】

周辺の環境を十分に読み取り、ボリュームのある円筒形と三角形の色彩の異なる二つのマスが対比する空間構成で、周りの地形・建物群との関係が緊張感の中にも開放感を醸し出している。建物全体が、歩いている様々な形と表情を見せ楽しい。また、地域のランドマークになり、広場やピロティ空間は都市公園機能を備えて、ヒューマンスケール空間とともに街路景観に寄与し、見事に調和している。

(宮原和明、伴丈正志)

所在地／長崎市油木町7番2号
用途／科学館
階数／地上4階
構造／鉄筋コンクリート造
延面積／30,339.27㎡
高さ／31.42m

■建築主■

長崎市長 伊藤一長
長崎市桜町2番22号

■設計者■

株式会社 環境デザイン研究所 代表取締役 仙田順子
東京都港区六本木5丁目12番22号
株式会社 三建設総合事務所 代表取締役社長 吉原殖男
長崎市上町2番6号

■施工者■

建築
株式会社 奥村組九州支店 取締役支店長 小川剛志
北九州市八幡東区山王2丁目19番1号
豊建設株式会社 代表取締役 道山正文
長崎市油木町35番2号
協大建設株式会社 代表取締役 野濱 隆
長崎市浜平1丁目8番20号

電気

株式会社 中電工九州支社 九州支社長 上野 脩
福岡市中央区薬院3丁目6番20号
島崎電業株式会社 代表取締役 島崎静夫
長崎市大橋町18番6号
株式会社 第三電機 代表取締役 河村和行
長崎市松が枝町5番39号

空調

須賀工業株式会社九州支店 常務取締役支店長 福田光雄
福岡市博多区千代2丁目8番32号
九設工業株式会社 代表取締役 久保安之
長崎市大橋町19番7号
協栄設備工業株式会社 代表取締役 藤原達幸
長崎市岩川町17番7号

給排水

株式会社 トーヨー理研長崎営業所 所長 伊藤憲明
長崎市大井手町24番
株式会社 日本冷熱 代表取締役社長 前野士朗
長崎市文教町11番13号

外構

株式会社 松栄技建 代表取締役 松尾正人
長崎市住吉台7番5号
有限会社 林田緑化 代表取締役 小川正從
長崎市桜町5番21号
橋本環境建設株式会社 代表取締役 鈴木 馨
長崎市元船町14番10号
株式会社 兄弟緑地 代表取締役 渡邊忠道
長崎市古賀町2151番地
有限会社 カネマツ緑化建設 代表取締役 野村和夫
長崎市出島町10番15号



第9回
長崎市都市景観賞
1997

『歴史のある部門』

宝製網株式会社



【選定理由】

大浦から小曾根へ向かう通りに沿って、煉瓦造2階建ての横長の建物がある。この壁面の横へ出ると、19世紀末か20世紀初めのロンドン郊外の小さな工場地帯の一角にいるような錯覚にすら陥る。当時より中小造船所の多いこの工場地帯にあって、隣接する大浦、南山手の風景とも調和し、長崎の街並みにじっくり浸透した雰囲気は、自然な中にも歴史の情景を伝える。窓、窓枠などの補修を行い、ぜひとも保存してほしい建物である。

(津田礼子)

所在地／長崎市小曾根町1番39号

用途／工場

階数／地上2階

構造／煉瓦造

延面積／782.46㎡

完成年／明治35年

■所有者■

宝製網株式会社 代表取締役 前岡 健

長崎市小曾根町1番39号



第9回
長崎市都市景観賞
1997

『歴史のある部門』
深堀の石塀群



【選定理由】

江戸時代まで鍋島藩であった深堀は、長崎市内で唯一、武家屋敷跡が保存されている地域である。この優れた歴史的景観は、特に、石塀を保存し、良く手入れしてきた人達により守られてきた。さらに、行き届いた庭の植栽、寺院や豊富な自然、さらに深堀地区の人達のまちづくり活動が、現在の優れた景観を支えている。深堀の人達により守り育てられてきた、石塀のある歴史的景観は、長崎市を代表する優れた景観である。

(岡林隆敏)

所在地／長崎市深堀地区

■代表者■
深堀地区連合自治会



第9回
長崎市都市景観賞 奨励賞
1997

『小さな建物部門』
高野眼科医院



【選定理由】

街路樹とのバランスが良く、周囲の環境に調和した良質の建物である。季節ごとに異なった景観を演出するだろうと想像される。設計者は医院という性格を理解し、前面道路の傾斜を利用して人に優しいバリアフリーの通路を計画されている。ただ、都市景観の立場で考えると、屋根の素材、色彩にもうひと工夫があれば、より素敵な建物になったのではなかろうか。

(芥 寛)

所在地／長崎市平野町10番3号
用途／診療所
階数／地上2階地下1階
構造／鉄筋コンクリート造
延面積／577.16㎡
高さ／11.548m

■建築主■
高野眼科医院 院長 高野士郎
長崎市平野町10番3号
■設計者■
株式会社 日匠建築設計 代表取締役 西田哲治
長崎市千歳町11番1号
■施工者■
増田建設工業株式会社 代表取締役社長 喜多 次吉
長崎市元船町1番9号



第9回
長崎市都市景観賞 奨励賞
1997

『テーマ部門：ベイスайдシンボル賞』

三菱長崎造船所クレーン・ライトアップ



【選定理由】

日本で最古のこのクレーン群は、長崎港に出入りする船と一体化して、美しい風景を創り出している。昼は、日常の生活感と力強い躍動感を醸し出し、夜は、鋼鉄のエレガントなオブジェとなる。昨年11月より、7基から2基のみのライトアップとなったのは残念であるが、漆黒の海に映える光のオブジェは、中心街の賑やかな街明りとは対比的に、夜の港町のしっとりとした情緒を感じさせる数少ないスポットである。

(山崎加代子)

所在地／長崎市飽の浦町1番1号

■所有者■

三菱重工業株式会社長崎造船所 取締役長崎造船所長 福島昭二
長崎市飽の浦町1番1号

長崎市都市景観賞受賞作品
(1987年～1996年)

第1回 (1987)	
長崎市都市景観建築賞	
◎活水女子大学・短期大学 音楽館・2号館	東山手町
◎カロムビル	浜町
◎フォーレ三原台	三原町
◎松翁軒	魚の町
◎中華門	新地町

第2回 (1989)	
長崎市都市景観建築賞	
◎活水学院楠光寮	小ヶ倉2丁目
◎小ヶ倉公営住宅	古道町
◎シーボルト記念館	鳴滝2丁目
◎蛍茶屋から新大工までの電車通り・電気軌道中央柱	最国道34号日見バイパス (馬町～蛍茶屋)
◎山里小学校	橋口町

第3回 (1991)	
長崎市都市景観賞	
◎川口鼈甲店	浜町
◎シーボルト通り	新大工町
長崎市都市景観賞奨励賞	
◎泉写真館	川口町
◎長崎プリンスホテルポケットパーク	宝町
◎月光スタジオ看板 (南蛮ボード)	桜馬場1丁目

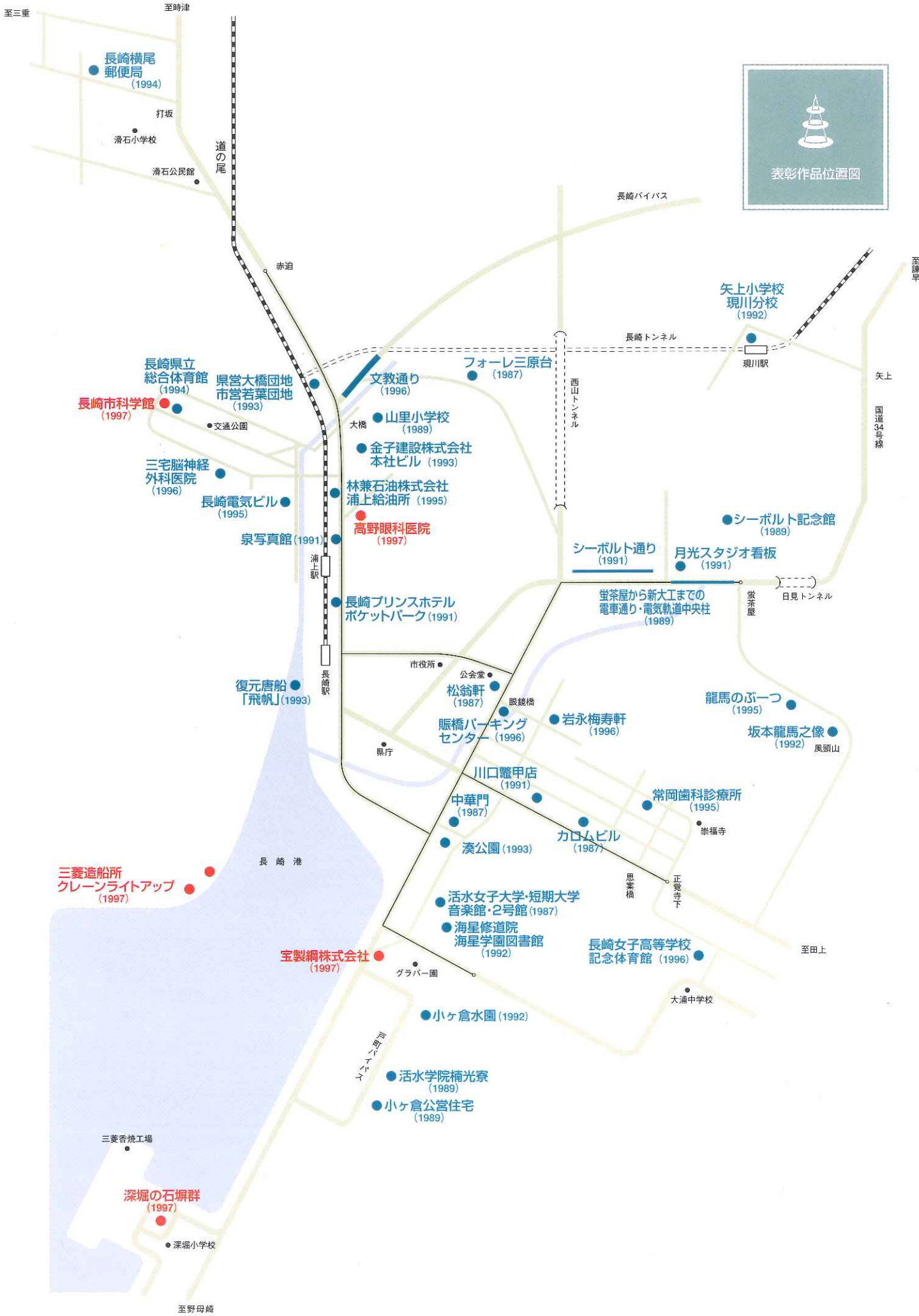
第4回 (1992)	
長崎市都市景観賞	
◎海星修道院 海星学園図書館	東山手町
◎矢上小学校現川分校	現川町
◎小ヶ倉水園	上戸町(小ヶ倉浄水場内)
長崎市都市景観賞奨励賞	
◎坂本龍馬之像(銅像)	伊良林3丁目(風頭公園内)

第5回 (1993)	
長崎市都市景観賞	
◎金子建設株式会社本社ビル	松山町
◎湊公園	新地町
◎県営大橋団地・市営若葉団地	大橋町、若葉町
長崎市都市景観賞奨励賞	
◎復元唐船「飛帆」	

第6回 (1994)	
長崎市都市景観賞奨励賞	
◎長崎県立総合体育館	油木町
◎長崎横尾郵便局	横尾1丁目

第7回 (1995)	
長崎市都市景観賞	
◎「大きな建物部門」	長崎電気ビル 城山町
◎「歴史のある部門」	常岡歯科診療所 油屋町
◎「テーマ部門：歴史ロマン賞」	龍馬のぶーつ 伊良林2丁目
長崎市都市景観賞奨励賞	
◎「小さな建物部門」	林兼石油株式会社浦上給油所 松山町

第8回 (1996)	
長崎市都市景観賞	
◎「小さな建物部門」	三宅脳神経外科医院 若草町
◎「歴史のある部門」	岩永梅寿軒 諏訪町
◎「テーマ部門：建築エコアップ賞」	賑橋パーキングセンター 栄町
長崎市都市景観賞奨励賞	
◎「大きな建物部門」	長崎女子高等学校記念体育館 中小島2丁目
◎「テーマ部門：四季プロムナード賞」	文教通り 文教町、大橋町



表彰作品位置図

長崎横尾郵便局 (1994)

長崎県立総合体育館 (1994)
長崎市科学館 (1997)

三宅脳神経外科医院 (1996)
長崎電気ビル (1995)

復元唐船「飛帆」(1993)

三菱造船所 クレーンライトアップ (1997)

三菱香焼工場
深堀の石塀群 (1997)

滑石小学校

滑石公民館

長崎県立総合体育館 (1994)

三宅脳神経外科医院 (1996)

長崎電気ビル (1995)

泉写真館 (1991)

長崎プリンスホテル

長崎駅

市役所

松翁軒 (1987)

中華門 (1987)

活水女子大学・短期大学

海星修道院

宝製綱株式会社 (1997)

小ヶ倉水園 (1992)

活水学院楠光寮 (1989)

小ヶ倉公営住宅 (1989)

深堀小学校

至野母崎

文教通り (1996)

山里小学校 (1989)

金子建設株式会社 本社ビル (1993)

林兼石油株式会社 浦上給油所 (1995)

高野眼科医院 (1997)

長崎プリンスホテル

市役所

松翁軒 (1987)

中華門 (1987)

活水女子大学・短期大学

海星修道院

宝製綱株式会社 (1997)

小ヶ倉水園 (1992)

活水学院楠光寮 (1989)

小ヶ倉公営住宅 (1989)

深堀小学校

至野母崎

フォーレ三原台 (1987)

山里小学校 (1989)

金子建設株式会社 本社ビル (1993)

林兼石油株式会社 浦上給油所 (1995)

高野眼科医院 (1997)

長崎プリンスホテル

市役所

松翁軒 (1987)

中華門 (1987)

活水女子大学・短期大学

海星修道院

宝製綱株式会社 (1997)

小ヶ倉水園 (1992)

活水学院楠光寮 (1989)

小ヶ倉公営住宅 (1989)

深堀小学校

至野母崎

文教通り (1996)

山里小学校 (1989)

金子建設株式会社 本社ビル (1993)

林兼石油株式会社 浦上給油所 (1995)

高野眼科医院 (1997)

長崎プリンスホテル

市役所

松翁軒 (1987)

中華門 (1987)

活水女子大学・短期大学

海星修道院

宝製綱株式会社 (1997)

小ヶ倉水園 (1992)

活水学院楠光寮 (1989)

小ヶ倉公営住宅 (1989)

深堀小学校

至野母崎

フォーレ三原台 (1987)

山里小学校 (1989)

金子建設株式会社 本社ビル (1993)

林兼石油株式会社 浦上給油所 (1995)

高野眼科医院 (1997)

長崎プリンスホテル

市役所

松翁軒 (1987)

中華門 (1987)

活水女子大学・短期大学

海星修道院

宝製綱株式会社 (1997)

小ヶ倉水園 (1992)

活水学院楠光寮 (1989)

小ヶ倉公営住宅 (1989)

深堀小学校

至野母崎

シーボルト通り (1991)

月光スタジオ看板 (1991)

シーボルト記念館 (1989)

蛭茶屋から新大工までの電車通り・電気軌道中央柱 (1989)

常岡歯科診療所 (1995)

常岡歯科診療所 (1995)

常岡歯科診療所 (1995)

常岡歯科診療所 (1995)

常岡歯科診療所 (1995)

常岡歯科診療所 (1995)

常岡歯科診療所 (1995)

常岡歯科診療所 (1995)

常岡歯科診療所 (1995)

常岡歯科診療所 (1995)

常岡歯科診療所 (1995)

常岡歯科診療所 (1995)

常岡歯科診療所 (1995)

シーボルト通り (1991)

月光スタジオ看板 (1991)

シーボルト記念館 (1989)

蛭茶屋から新大工までの電車通り・電気軌道中央柱 (1989)

常岡歯科診療所 (1995)

常岡歯科診療所 (1995)

常岡歯科診療所 (1995)

常岡歯科診療所 (1995)

常岡歯科診療所 (1995)

常岡歯科診療所 (1995)

常岡歯科診療所 (1995)

常岡歯科診療所 (1995)

常岡歯科診療所 (1995)

常岡歯科診療所 (1995)

常岡歯科診療所 (1995)

常岡歯科診療所 (1995)

常岡歯科診療所 (1995)

矢上小学校 現川分校 (1992)

現川駅

長崎トンネル

西山トンネル

シーボルト通り (1991)

月光スタジオ看板 (1991)

シーボルト記念館 (1989)

蛭茶屋から新大工までの電車通り・電気軌道中央柱 (1989)

常岡歯科診療所 (1995)

常岡歯科診療所 (1995)

常岡歯科診療所 (1995)

常岡歯科診療所 (1995)

常岡歯科診療所 (1995)

常岡歯科診療所 (1995)

常岡歯科診療所 (1995)

常岡歯科診療所 (1995)

常岡歯科診療所 (1995)

常岡歯科診療所 (1995)

常岡歯科診療所 (1995)

至藤早

矢上

国道34号線

至田上

大浦中学校

至野母崎

至野母崎

至野母崎

至野母崎

至野母崎

至野母崎

至野母崎

至野母崎

至野母崎

至野母崎

至野母崎

至野母崎

至野母崎

至野母崎

至野母崎

表彰実行委員会

委員長

伊藤一長
(長崎市長)

委員

野崎元治
(長崎商工会議所会頭)

高比良昇
(長崎商工会議所専務理事)

林田武
(長崎商工会議所建設部会長)

末永稔
(長崎商工会議所青年部会長)

新倉桂一
(長崎市都市整備部長)

秋窪幹男
(社団法人長崎県建設業協会長崎中央支部支部長)

扇道徳
(社団法人長崎県測量設計業協会会長)

清島利光
(社団法人長崎県建築士事務所協会長崎支部支部長)

坂口隆志
(西部ガス株式会社長崎事業本部事務取締役長崎事業本部長)

清水毅志
(日本電信電話株式会社長崎支店支店長)

平三樹男
(長崎市管工業協同組合理事長)

土橋康二
(長崎市造園建設業協同組合理事長)

徳住一郎
(長崎県電気工業業工業組合長崎支部支部長)

永田朝治
(社団法人長崎県建築士会長崎支部支部長)

中村諭
(社団法人長崎県建設業協会長崎支部支部長)

前田昌三
(九州電力株式会社長崎支店支店長)

監事

宮崎應男
(長崎商工会議所理事)

下釜憲一
(長崎市都市整備部宅地開発指導課長)

主催

長崎市

長崎商工会議所

長崎商工会議所青年部

協賛

社団法人長崎県建設業協会長崎中央支部

社団法人長崎県測量設計業協会

社団法人長崎県建築士事務所協会長崎支部

西部ガス株式会社長崎事業本部

日本電信電話株式会社長崎支店

長崎市管工業協同組合

長崎市造園建設業協同組合

長崎県電気工業業工業組合長崎支部

社団法人長崎県建築士会長崎支部

社団法人長崎県建設業協会長崎支部

九州電力株式会社長崎支店 (順不同)

後援

NHK長崎放送局

株式会社エフエム長崎

株式会社テレビ長崎

株式会社長崎国際テレビ

株式会社長崎新聞社

長崎文化放送株式会社

長崎放送株式会社 (50音順)



長崎市都市景観賞表彰実行委員会